

ハーセプチン+パージェタの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

| お薬の名前 | 1日目 | 2～21日目 |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| ハーセプチン (トラスツズマブ) mg |  初回は90分、 2回目以降は30分 | お休み |
| パージェタ (ペルツズマブ) mg |  初回は60分、 2回目以降は30分 | |

★起こりやすい副作用

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

心障害

心障害の主な初期症状として、階段や坂道をのぼるだけでも息苦しさを感ずる、疲労感が続く、咳が多くでる、手足にむくみが生じるなどの症状があります。

⇒上記のような症状が気になる場合、心臓の病気の既往がある場合は、お知らせ下さい。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。

ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『熱っぽい』『発疹が出る』『息苦しい』『めまい』などの症状がおこった時は、すぐに医療スタッフにお知らせ下さい

倦怠感

治療開始 2、3 日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

皮疹・皮膚炎

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。

症状が強く出た場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

血管外漏出

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、すぐに医師・看護師にお知らせください。症状は数日続くこともありますので、外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。

すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「動くと息が苦しい」、「疲れやすい」、「足がむくむ」、「急に体重が増えた」（心障害）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。

担当薬剤師